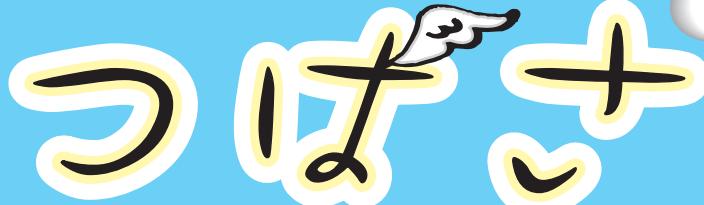




Community Medicine — 地域医療の架け橋 —



地域の皆さまに信頼される病院として
安全で質の高い医療を提供します。

号外

2015年8月発行

独立行政法人地域医療機能推進機構

神戸中央病院

〒651-1145

神戸市北区惣山町2丁目1-1

TEL 078-594-2211

FAX 078-594-2244

<http://kobe.jcho.go.jp/>

第5回JCHO神戸中央病院 市民医療セミナー

「パーキンソン病と認知症：病気と介護のはなし」 — 主催者からのメッセージ —

お 礼

6月13日に開催させていただきました第5回JCHO神戸中央病院市民医療セミナーでは、高齢化社会に突入し、身近な疾患となりました「認知症とパーキンソン病」を取り上げさせていただきました。その結果、非常に高い関心をよせていただき、550名という多数の方々にご来場いただき、また、多くの質問、内容照会もいただきました。そこで、このたび、広報誌「つばさ」の号外として講演の内容の要約を発行させていただくことにしましたのでご覧ください。

■ 開会のあいさつ

大友 敏行 院長



市民セミナーも5回目の開催となりました。いつも地域の皆さんに多数お集まりいただいて感謝していますが、今回は550名もの参加をいただいて御礼申し上げます。私ども病院の役割は手術やお薬を出すだけでなく、住民の皆さんの病気に対する疑問や不安を取り除く、このような取り組みにもあることを改めて痛感しました。これからも「神戸中央病院があるこの地域に住んでいて良かった」という気持ちを持ってもらえる様に職員一同頑張ります。

■ パーキンソン病の診断と治療

小別所 博 神経内科 医長



パーキンソン病は安静時振戦(手足のふるえ)、筋強剛(体の固さ)、無動(動作緩慢)および姿勢反射障害(転倒しやすさ)の4つの症状のうち複数を認めることにより運動障害をきたすパーキンソン症候群のひとつで、国の難病に指定されている脳神経の病気です。他のパーキンソン症候群とは異なる症状を改善させるいくつかの治療法があり、うまく組み合わせることにより自立した生活を長期間送ることが可能になります。そのためパーキンソン病は正しく診断することが重要となります。上記のような「手足のふるえ」など症状において、悩み、不安、困っていることがありましたら、当院神経内科の受診をおすすめいたします。

■ 認知症の診断と予防と治療

田中 健一 精神神経科 医長



認知症は65歳以上の高齢者の10人に1人が罹患する病気です。2025年には認知症を患う人が700万人を超えると予測されています。認知症はとてもありふれた病気ですが、「認知症は年のせいだから仕方ない」「認知症は一つの病気である」と誤解されていることもあります。まずは認知症について、正しく理解をしていただければと思います。認知症の多くは現在の医学では残念ながら根治が望めませんが、適切に治療・ケアを行えば、進行を遅らせたり、部分的ではあります但し症状を改善することは可能です。そのためには認知症の早期発見、早期診断、早期治療が重要になります。

認知症はもの忘れ外来などの専門外来だけでなく、精神科や老年内科や神経内科などでも診療を担当しています。認知症について心配や困っていることがありましたら、ぜひ一度当院精神神経科などの受診をおすすめいたします。



■ 認知症のある人へのケア

西田 珠貴 地域連携室長、認知症看護認定看護師



認知症の症状には記憶の障害をはじめ多くの障害があります。しかし、症状でその人の尊厳や今まで生きてきた人生が失われることはありません。また、認知症はその症状から日常の生活に障害が生じます。日常の生活を継続するためには、家族だけではなく、周囲の人々の目や手を借りることが必要になります。認知症のある方の周囲にいる人々すべてが大切な環境であり、私たちの関わり方次第で症状は良くもなり悪くもあります。できないのではなく「できにくくなっている」と捉え、認知症のある方のできることに目を向けた支援が大切になります。

当院看護部では「認知症の予防」について毎月第4木曜日10:00～11:00、1階外来玄関ホールにて看護相談を開催しております。是非ご参加ください。



■ 閉会のあいさつ

松本 圭吾 副院長、地域医療推進部長



このJCHO神戸中央病院の市民医療セミナーも5回になりました。今回は「認知症とパーキンソン病」をテーマとして開催させていただき、高齢化に伴う脳の代表的な2つの病気について、そのなりたちと介護について認識を深めていただいたのではないかと思います。

高齢化社会に対する「地域包括ケアシステム」の中で、われわれの病院は「地域医療支援病院」として、地域の皆様の急変あるいは重病化の際の入院治療を通して在宅ケアをバックアップするのが主な使命となります。今回の市民医療セミナーのような機会を通して、医療・介護に関する知識の啓蒙も大事な仕事と考えております。この度は多数のご来聴どうも有難うございました。

■ 測定コーナー

高嶋 学志 臨床検査技師長



体のすみすみまで酸素や栄養を運ぶ重要な役割を果たしているのが動脈です。脂質異常や糖尿病、高血圧などでこの動脈は硬化し心筋梗塞や脳梗塞などを引き起こす原因となります。頸動脈エコーは動脈硬化の早期発見に適した検査で、少しでも多くの皆さんに受けて頂き健康増進の手助けになればと考えております。

セミナーでは人数に限りがあるため、受付時間や発券などで皆様のご希望に添えなく申し訳なく思っておりますが、これからも続けて行いたいと考えていますので、今後ともよろしくお願いします。



次回予告

さて次回は、11月7日（土）にすずらんホールにて『当院での耳鼻科の最新治療』をテーマに耳鼻科の医師を中心に講演会と相談会を予定しています。みみ、はな、のど 全く問題なしという方はむしろ少ないのではないかと思います。次回も、是非、お誘いあわせの上ご来場ください。